



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.799 2011年8月29日

ARIBからのお知らせ

CEATEC JAPAN 2011 開催と ARIB 出展のお知らせ

CEATEC (Combined Exhibition of Advanced TEChnologies) JAPAN は、通信・情報・映像が融合したデジタルネットワーク時代を反映した最新の技術・製品・システム・ソフト等を一堂に集め、その成果を情報発信するアジア最大級の最先端 IT・エレクトロニクス総合展です。

今回で 12 回目を迎える同展示会『CEATEC JAPAN 2011』が、10月4日(火)から5日間、幕張メッセにおいて開催されます。

当会は同展示会に協賛するとともに、下記のとおり今年も ARIB ブースを設けて、当会の最新の事業活動等を紹介いたします。ぜひ、お立ち寄りください。

記

- 1 会期：特別招待日 平成 23 年 10 月 4 日(火) 10:00 ~ 17:00 (入場には特別招待券が必要)
公開日 平成 23 年 10 月 5 日(水) ~ 10 月 8 日(土) 10:00 ~ 17:00
- 2 会場：幕張メッセ (千葉県美浜区中瀬 2-1)
ARIB 出展場所：ビジネス&ソサエティゾーン (ホール 4 小間番号 4B30)
- 3 ARIB 出展内容
 - (1) パネル展示による ARIB の概要、研究開発及び国際普及活動の紹介
 - (2) 第 22 回電波功績賞を受賞された技術やシステムの実機展示等を含む紹介
 - (3) インターネットによる ARIB Web サイトを利用した標準規格のダウンロード等の紹介
- 4 会場へのアクセス：JR 京葉線 海浜幕張駅 (会場まで徒歩 7 分)
JR 総武線 幕張本郷駅、京成線 幕張本郷駅 (会場までバス 15 分)
- 5 入場：全来場者登録入場制
※入場料が無料となる Web 事前登録をお勧めします。
詳細は、CEATEC の Web サイト (<http://www.ceatec.com/2011/ja/index.html>) をご覧下さい。

第 89 回電波利用懇話会のお知らせ
「IMES を利用した測位サービスの今後の展望」

屋内の測位システムである IMES(Indoor Messaging System)の普及促進を目的として、IMES コンソーシアムが本年 6 月に設立されました。IMES とは、GPS 信号の受信強度が大幅に低下する建物内部や地下街においても確実な位置情報を得るために、建物内部や地下街などに、位置情報を格納した GPS と互換性のある信号の送信機を設置しておき、屋内や屋外を問わないシームレスな位置情報を取得できる測位システムです。我が国のみならず海外においても、IMES の普及による新たなビジネスの展開が期待されています。

今回の講演会においては、IMES コンソーシアムにおいて中心的な役割を果たされておられる慶應義塾大学の神武 直彦 准教授をお招きし、「IMES を利用したサービスの今後の展望」についてご講演頂くことといたしました。

会員の皆様におかれましては、新しい測位ビジネスに対する理解を深めて頂くためにも、是非とも、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 : 平成 23 年 10 月 5 日(水) 午後 2 時から 3 時 30 分まで
- 2 場 所 : 一般社団法人電波産業会 会議室 (日土地ビル 11 階)
東京都千代田区霞が関 1-4-1 TEL:03-5510-8592
- 3 題 名 : IMES を利用した測位サービスの今後の展望
- 4 講 師 : 慶應義塾大学 システムデザイン・マネジメント研究科
准教授 神武 直彦 様
- 5 対 象 : ARIB 正会員及び賛助会員
- 6 参加者 : 70名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 7 申込先 : 当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「講演会等開催案内」まで
- 8 参加費 : 無料
- 9 問合せ先 : 企画国際部 電波利用懇話会事務局 佐藤まで
TEL: 03-5510-8592 e-mail:arib-seminar2011@arib.or.jp

総務省からのお知らせ

700MHz 帯安全運転支援通信システムの導入に向けて
—情報通信審議会からの一部答申—

【[平成 23 年 8 月 3 日の総務省報道資料から](#)】

総務省は、本日、情報通信審議会（会長：大歳 卓麻 日本アイ・ビー・エム株式会社 会長）から、平成 21 年 7 月 28 日付け情報通信審議会諮問第 2029 号「ITS 無線システムの技術的条件」のうち「700MHz 帯安全運転支援通信システムの技術的条件」について一部答申を受けました。

1 背景

VICS(道路交通情報通信システム)や ETC(自動料金収受システム)に代表されるように、ITS(高度道路交通システム)は我が国の重要な社会基盤の 1 つとなっており、近年は、安全や環境等の様々な分野での課題解決の手段として、その更なる高度化を図るための取組が進められているところです。

特に、交差点等における交通事故を削減するための安全運転支援システムの実現に向け、車載器同士や車載器と路側機間で自車の位置や速度情報等を送受信する車車間通信・路車間通信の技術開発や実証実験、衝突防止レーダの高度化等の安全運転支援通信システムに関する各種取組が進められています。

さらに、総務省が開催した「ITS無線システムの高度化に関する研究会」において、2012 年 7 月以降地上テレビジョン放送のデジタル化完了後に利用可能となる 700MHz 帯の周波数帯を用いた ITS 無線システムの導入に向けて、利用イメージ（別紙 1）や通信要件等についての報告書を平成 21 年 6 月に取りまとめました。

このような背景を踏まえ、700MHz 帯安全運転支援通信システムの導入が可能となるよう、平成 21 年 7 月 30 日から情報通信審議会において「ITS 無線システムの技術的条件」（平成 21 年 7 月 28 日付け情報通信審議会諮問第 2029 号）のうち「700MHz 帯安全運転支援通信システムの技術的条件」について審議が行われ、本日、一部答申を受けました。

2 答申の概要

別紙 2 のとおりです。

3 今後の予定

総務省では、本一部答申を踏まえ、700MHz 帯安全運転支援通信システムの導入に向け、技術基準の策定を進めていく予定です。

【関係報道資料】

- ・「ITS 無線システムの高度化に関する研究会」報告書（案）に対する意見募集の結果及び報告書の公表（平成 21 年 6 月 5 日）
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/14422.html
- ・「ITS 無線システムの技術的条件」に関する情報通信審議会への諮問（平成 21 年 7 月 28 日発表）
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/16942.html
- ・移動通信システム委員会 報告（案）に対する意見の募集（700MHz 帯安全運転支援通信システムの技術的条件について）（平成 23 年 6 月 24 日発表）
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban14_01000034.html
- ・移動通信システム委員会 報告（案）に対する意見の募集の結果（700MHz 帯安全運転支援通信システムの技術的条件について）（平成 23 年 8 月 2 日発表）
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban14_01000039.html
- ・情報通信審議会 情報通信技術分科会 会議資料
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/policyreports/joho_tsusin/bunkakai_index.html

放送サービス応用メタデータ作業班 主任 真島 恵吾

(NHK 放送技術研究所 次世代プラットフォーム研究部 主任研究員)



放送サービス応用メタデータ作業班主任の真島と申します。この作業班は、デジタル放送システム開発部会の下に設置されており、放送コンテンツに関連する情報を記述するメタデータの符号化方式、伝送方式及び蓄積制御方式を規定することを目的とした標準規格「サーバー型放送における符号化、伝送及び蓄積制御方式」(STD-B38)を所掌しています。規格名称からもおわかりになるように、当作業班は1999年10月27日に発足以来、2010年9月までサーバー型放送方式作業班と称し、2004年ころまでは、サーバー型放送方式の標準化を進めてまいりました。私は、2005年7月に前任者から主任を引き継ぎ、サーバー型放送サービスに加え、「高度広帯域衛星デジタル放送ダウンロードサービス」および「セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送サービス」におけるメタデータの規定を、皆様のご協力のもとにとりまとめさせていただきました。

私とARIBとの関わりは、当時のサーバー型放送方式作業班に設置された3つのタスクグループ(TG)のひとつであるメタデータTGに委員として参加したことから始まります。このTGは、2000年2月に第1回目の会合が開催されて以来、川森雅人(NTTサイバーソリューション研究所)リーダーのもと165回の会合を重ねており、当作業班の中心的な役割を担っております。

2011年7月24日に、東北の岩手・宮城・福島の3県を除く44都道府県向けのアナログテレビ放送が終了しました。正午には各局最後のお知らせ画面に移行し、私にとっても非常に感慨深い節目の瞬間となりました。今後、放送と通信を連携させたサービスなどさらなるデジタル放送の普及・発展のためには、放送通信融合システムに不可欠な技術のひとつであるメタデータの役割もますます重要になっていくものと思われます。私も、皆様のお力添えをいただきながら、ARIBの標準化活動に貢献できるよう努めていきたいと考えております。

今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

編集後記

先週末から、酷暑から急に寒くなるような気温変化があり夏バテ気味の私は見事に風邪を引いてしまいました。しつこい風邪で、熱は微熱ですが1週間経っても咳がとまりません。

皆様も是非、風邪など引かないようにお気をつけ下さい。

山田

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp